

→ ホ
チ
キ
ス
位
置

ロボット開発工学 定期試験		①
水1 熊谷正朗 すべて持込可 60分		
学生番号	学年	
氏名		
日時	教室(多)	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
学生番号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
確	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	X	Y
1	+	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	+	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	+	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- ・2枚とも氏名等を記入し、学生番号(縦に7桁)をマークすること。右枠はマークしないこと。
- ・[確]には学生番号の各桁の数字をバラして足したもの1の位をマーク 例 9941100→計24→4

1 ロボットの機構部分は開発の成否に大きく影響する。特にどのような力がかかるかの見積は重要である。設計に必要な主要な力である **重力と慣性力** の計算について、**関連する事項**も含めて、図と数式を交えて述べよ。

- ・必要なら、明記の上で、裏面を使用のこと。

→
ホ
チ
キ
ス
位
置

ロボット開発工学 定期試験		(2)
水1 熊谷正朗 すべて持込可 60分		
学生番号	学年	
氏名		
日時	教室(多)	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
学 生 番 号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
確	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	X
	+	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	+	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	+	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
X	0	●	0	0	0	●	0	0	0	0	0

- ・2枚とも氏名等を記入し、学生番号(縦に7桁)をマークすること。右枠はマークしないこと。
- ・[確]には学生番号の各桁の数字をバラして足したもの1の位をマーク 例 9941100→計24→4

2 ロボット開発に関わる以下の要素の選定について、選定方法を述べよ。必要なら数式などを併用すること。(必要なら明記の上、裏へ。目安は枠が埋まる程度)

(1) 機構の種類 (XYZ型、腕型、移動型など)

(2) 材料

(3) アクチュエータ

(4) 減速機(減速装置)

(5) センサ